

2007年度「重要インフラにおける情報セキュリティ確保に係る『安全基準等』策定にあたっての指針」見直しを通じて得られた重要インフラの情報セキュリティ確保に係る
参考事項(要点)(案)

年 月 日
重要インフラ専門委員会

1. はじめに

「重要インフラにおける情報セキュリティ確保に係る『安全基準等』策定にあたっての指針」¹（以下「指針」という。）は、「重要インフラの情報セキュリティ対策に係る行動計画」²（以下「行動計画」という。）に基づき、1年ごと及び必要に応じて適時に見直しを行うこととしている。

今般、前回の見直し(2007年6月指針改定)以後の状況を踏まえ、以下のとおり指針の見直しを行った結果、指針の改定は行わないことが適当と認められた。一方、見直しの検討過程において、各重要インフラ分野において参考となり得る事項が得られたことから、これらを整理して要点をとりまとめた。各重要インフラ分野において、安全基準等の見直しを含め、情報セキュリティ対策を実施する場合には、参考とされることを期待する。

2. 見直しの経緯

以下の4つのアプローチで分析・検証を行い、情報セキュリティ対策に関する「問題意識」を抽出し、現在の指針と照らし合わせた。これにより、指針には記載がないが、各分野において確認・検証が行われることが望ましい事項を整理し、要点をとりまとめた。

- i) 定常的なIT障害の発生状況の分析
- ii) 「相互依存性解析」の成果
- iii) 関連文書の検証
- iv) 社会的条件(環境)の変化の検証

得られた要点は以下のとおりである。

¹ 「重要インフラにおける情報セキュリティ確保に係る『安全基準等』策定にあたっての指針」(2006年2月2日 情報セキュリティ政策会議決定、2007年6月14日改定)

http://www.nisc.go.jp/active/infra/pdf/infra_pl07.pdf

² 「重要インフラの情報セキュリティ対策に係る行動計画」(2005年12月13日 情報セキュリティ政策会議決定)

http://www.nisc.go.jp/active/infra/pdf/infra_rt.pdf

3. 指針見直しを通じて得られた要点

(1) 水道分野と他分野との相互依存性

静的相互依存性解析³の結果、水道分野のサービスの停止や機能の低下等により情報通信、金融、航空、鉄道、政府・行政サービス、医療、物流の各重要インフラ分野において重要システムが機能不全に陥るおそれがあることが判明した。空調(加湿を含む)・冷却用途として水道を利用している場合は、止水時の温度上昇等による重要システムへの影響を把握し、用水の備蓄等の対策の検討が必要な場合がある。

(2) IT 障害への脅威の定義、及び、重要インフラ事業者等・重要システムの範囲

「行動計画 別紙1」において、「情報システムの障害、不正な処理などの脅威・危険性」「対象となる重要インフラ事業者等」「対象となる重要システム例」が列挙されている。しかしながら、IT 依存の一層の深化に伴い、現在の行動計画や安全基準等の対象とされないサービスが開始・拡大するとともに、安全基準等の適用対象とされないシステムも含めて、我が国の国民生活や社会経済活動に多大なる影響を及ぼすおそれが生じる障害が発生している。このため、IT 障害への脅威、及び、重要インフラ事業者等・重要システムの範囲について状況の変化に応じた見直しが必要な場合がある。

(3) 経験やベストプラクティスの共有

大規模な IT 障害の発生に至らなかった事例により、過去事例の知見や教訓を受けた対策が有効な場合があることが明らかとなった。情報共有体制を活用して経験やベストプラクティスを他事業者と共有することが情報セキュリティ対策の向上に役立つと考えられる。

(4) IPv6 への移行を行う場合の適切な対応

インターネットの普及によりIPv4アドレスの不足が予想されている。IPv6への移行が必要となる場合には、既存情報システムへの影響等について検討が必要な場合がある。

4. その他

今般の指針見直しの経緯等は、別紙1、別紙2のとおりであり、各重要インフラ分野において、必要に応じて参照されることを期待する。

なお、指針見直しを通じて得られた要点のうち、3. (2)から3. (4)については、今後の行動計画見直しにて検討が予定されている。このため、内閣官房は、引き続き重要インフラ所管省庁の協力を得て、これらの点を含めた対策の検討を進める。

³ 情報セキュリティ政策会議 第15回会合 資料6 「静的相互依存性解析の総括について」
<http://www.nisc.go.jp/conference/seisaku/dai15/pdf/15siryou06.pdf>